

令和6年度水道事業会計決算のあらまし

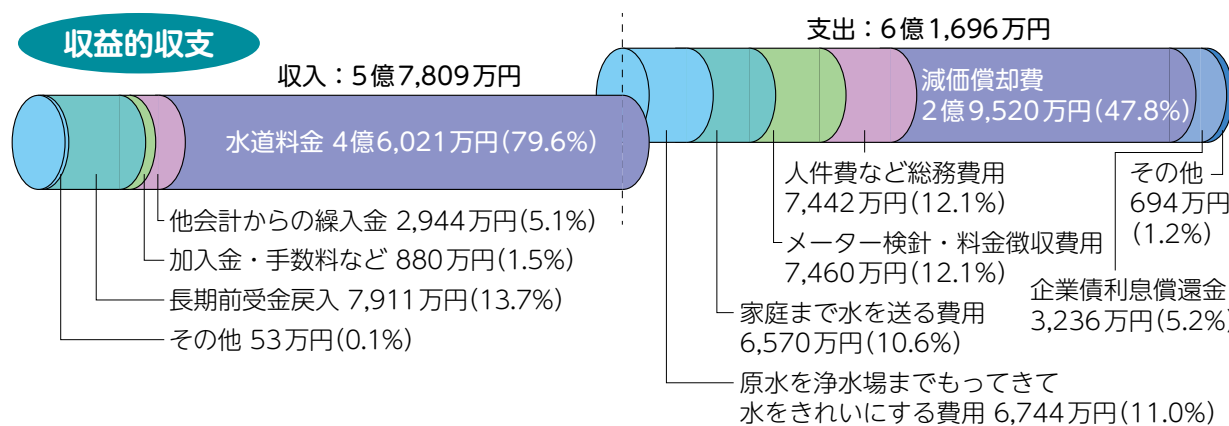
水道事業会計は、①「収益的収支」と、②「資本的収支」の2本立てで成り立っています。

① 収益の収支(消費税抜き)

収益的収支では、水道水をつくり、皆さんの家庭に送り届けるために必要な支出と、その財源となる水道料金などの収入を経理しています。

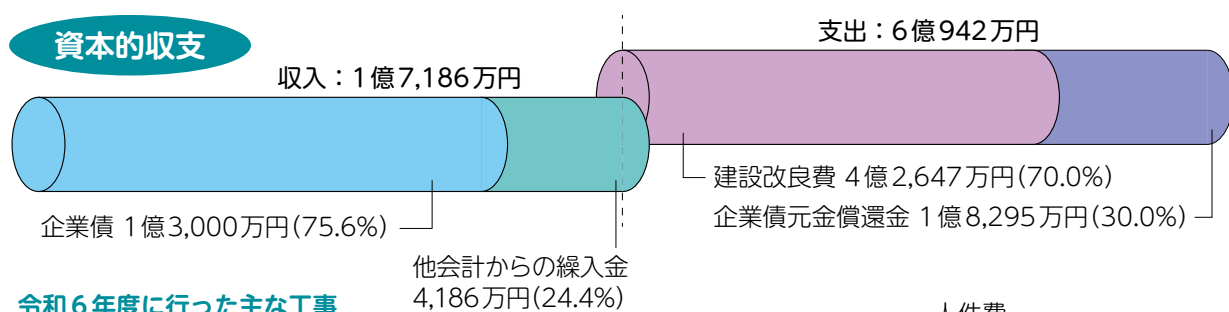
令和6年度末の給水戸数は、16,067戸、年間総配水量は5,036,268㎥でした。

令和6年度の純損益は、約3,887万円の赤字となっています。これは、老朽管を修理するための費用や、浄水場などで機械を動かすための動力費が増えたためです。



② 資本的収支(消費税込み)

資本的収支では、水道施設ならびに水道管の更新や耐震化をするために必要な支出と、その財源となる企業債などの収入を経理しています。支出に対して不足する額は、内部留保資金（減価償却費などの現金の支出を伴わない費用で、企業内部に残っている資金）で補てんしました。



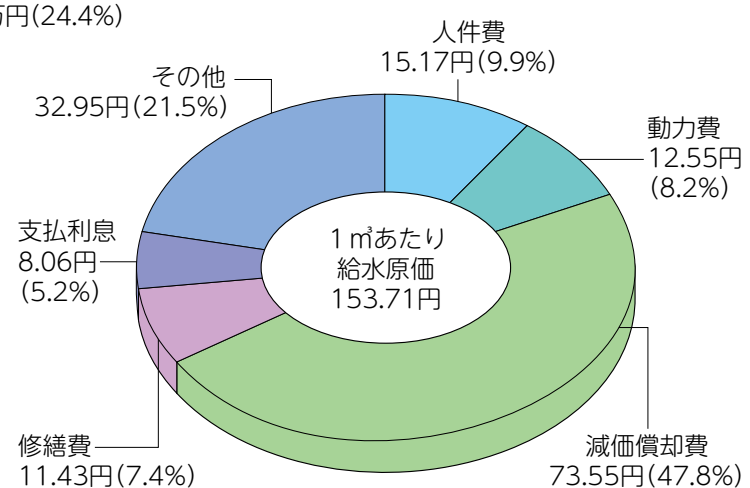
令和6年度に行った主な工事

- 宮ノ前原縁・飯原線配水管布設替工事
- 源光寺・近久線水道管耐震化工事
- 山川浄水場取水井築造工事

給水原価とは、有収水量1 m³をお届けするために必要な費用です。

今年度は、約154円かかったことになりました。費用の内訳は右の図のとおりです。

今後とも市民の皆さんの信頼に応えるべく、安心かつおいしい水の供給と健全経営に努めていきます。



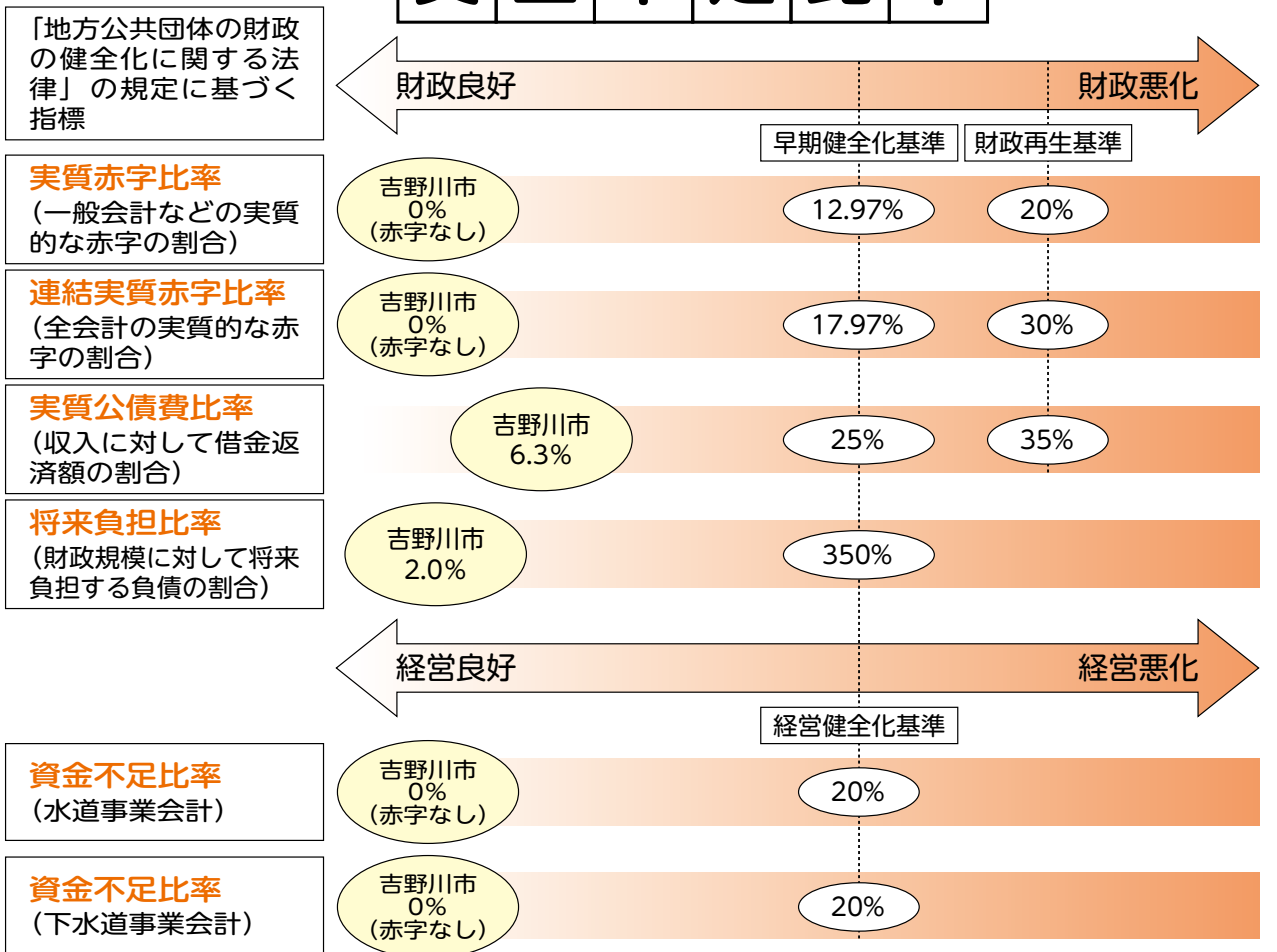
●問い合わせ 水道課 ☎22-2256 FAX22-2254

特	別	会	計
---	---	---	---

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	42億6,726万7千円	42億1,018万1千円	5,708万6千円
介 護 保 険 特 別 会 計	60億2,384万円	58億6,626万2千円	1億5,757万8千円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	7億7,105万円	7億6,750万円	355万円

健	全	化	判	断	比	率
---	---	---	---	---	---	---

資	金	不	足	比	率
---	---	---	---	---	---



地方公共団体は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、監査委員の審査に付した上で、議会に報告後、公表することが義務付けられています。

ま	と	め
---	---	---

ま と め 令和6年度においては、基金残高が減少したことなどにより、前年度には算定されなかった将来負担比率が2.0%に上昇しました。しかしながら、引き続き健全な財政状態を維持しています。令和7年度においても、新ごみ処理施設整備事業などに伴う市債発行額の増加や基金残高の減少が見込まれます。今後も市政運営を持続可能なものとするため、行財政改革をさらに推進し、身の丈に合った財政運営に努めていきます。

●問い合わせ 財務課 ☎22-2221 FAX22-2244